

製品名: PP2A アルファ/ベータウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02462

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPP2CA
別名	PPP2CA; Serine/threonine-protein phosphatase 2A catalytic subunit alpha isoform; PP2A-alpha; Replication protein C; RP-C
遺伝子 ID	5515
SwissProt ID	P67775
免疫原	ヒト PP2A アルファの合成ペプチド

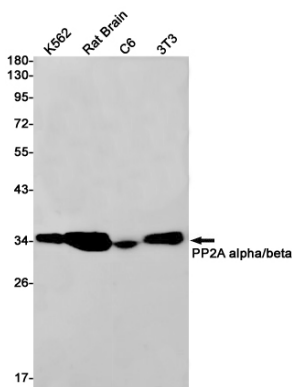
背景

PP2Aは微小管関連タンパク質 (MAP) の主要なホスファターゼである。PP2Aは、ホスホリラーゼ B キナーゼ、カゼインキナーゼ 2、ミトジェン刺激 S6 キナーゼ、および MAP-2 キナーゼの活性を調節することができる。SGOL2 と連携して、卵母細胞において、特に減数分裂 I 期にセントロメアコヒーシンをセパララーゼによる切断から保護する (相同性による)。SV40 ラージ T 抗原および p53/TP53 を脱リン酸化することができる。RAF1 の「Ser-259」を脱リン酸化することにより、RAF1 を活性化する。

研究分野

細胞生物学

画像データ



PP2A アルファ/ベータ抗体を使用した、K562、ラット脳、C6、3T3 溶解物中の PP2A アルファ/ベータのウエスタン ブロット分析。